士別市農業委員会だより



(題字:渡辺市長書)

第 37 号

令和5年8月15日



主な内容

◆農業委員道内視察研修	2	◆令和4年度農地移動実績	3
◆農地転用情報	2	◆士別市農業奨励賞	4

編集/発行 士別市農業委員会 編集委員会 7095-8686 士別市東 6 条 4 丁目 1 番地(士別市農業委員会内) TEL 0165-26-7168 / FAX 0165-29-6373

令和4年度 士別市農業奨励賞受賞

士別市農業奨励賞は創意 工夫をもって生産性と技術 の向上に努めるなど、農業経 営に対する意欲的な取り組 みや地域における積極的な 活動が、他の模範となる農業 者を表彰するものです。

令和4年度は川西町の沼 舘圭一さん、朝日町の中村光 晶さんの2名が表彰されま した。



全国農業新聞

- ◆発行日 週1回(金曜日)
- ◆発行所 全国農業会議所
- ◆購読料 月 700 円(送料、税込)

全国農業新聞の購読について

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。 農業者の「経営と暮らしに役立つ」ホットな情報を毎週 金曜日にお届けします。

詳しくは、士別市農業委員会へお問い合わせください。



 編集委員
 本下
 一彦

 編集委員
 松井
 薫

 編集委員
 松井
 薫

 編集委員
 松井
 薫

 編集委員
 大
 次

を作業は順調に進めるこを作業は順調に進めることができました。その後は 適度に雨も降り、農作物も で豊穣の秋を迎えたいも で豊穣の秋を迎えたいも で豊穣の秋を迎えたいも のですね。

編集後記

令和4年度農地移動実績

令和4年4月1日~令和5年3月31日(総会決定分)

(1) 農業経営基盤強化促進事業・農地法第3条による所有権移転又は利用権設定実績

地区名	所 有 権 移 転 (売買・贈与)		利 用(賃貸借	権 設 定 · 使用貸借)	合 計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
中央	43件	269.89 ha	35件	443.93 ha	78件	713.82 ha
中士別	18件	133.79 ha	11件	66.67 ha	29件	200.46 ha
上士別	52件	129.38 ha	14件	103.32 ha	66件	232.70 ha
多寄	18件	151.98 ha	9件	57.68 ha	27件	209.66 ha
温根別	16件	123.68 ha	14件	142.09 ha	30件	265.77 ha
朝日	13件	95.24 ha	23件	121.91 ha	36件	217.15 ha
合 計	160件	903.96 ha	106件	935.60 ha	266件	1,839.56 ha

(2) 上記(1) のうち離農に伴う所有権移転又は利用権設定実績

地区名	所 有 権 移 転 (売買・贈与)			権 設 定 ・使用貸借)	合 計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
中央	24件	138.62 ha	4件	33.03 ha	28件	171.65 ha
中士別	5件	36.65 ha	6件	34.84 ha	11件	71.49 ha
上士別	4件	30.44 ha	0件	0.00 ha	4件	30.44 ha
多寄	1件	9.15 ha	0件	0.00 ha	1件	9.15 ha
温根別	4件	19.99 ha	3件	24.05 ha	7件	44.04 ha
朝日	5件	18.50 ha	5件	14.91 ha	10件	33.41 ha
合 計	43件	253.35 ha	18件	106.83 ha	61件	360.18 ha

(3) 離農戸数

中 央	中士別	上士別	多寄	温根別	朝日	合 計
15戸	5戸	4戸	1戸	5戸	8戸	38戸

は6月27日~28日の2日間の日 程で研修を実施しました。 の視察研修を行っており、 環として日常活動の強化を図るた 農業委員会では、 農業に関わる先進地等 委員活動 今年度 の

乾田直播栽培導入による労働時間 講義していただきました。 他にも 乾田直播のメリット並びに作業手 というテーマで研修を行いました 向けの新品種の特徴等、 に関連する成果の紹介、直播栽培 と経営上の変化の試算や乾田直播 作業面での重要な内容を事細かく 海道における水稲乾田直播栽培」 道農業研究センターにおいて「北 初日は札幌市豊平区にある北 作業を行う際の注意点、施肥 水管理方法、 除草剤処理と 色々な角

る新しくできた施設です。6月30 アグリフロントを視察しました。 ファイターズの新球場エスコンフ ィールド北海道と同じ敷地内にあ 2日目は北広島市にあるクボタ

があり、

壁にしか見えない内部で

対側にはリーフレタスの栽培装置

がっていました。

通路を挟んで反

る自動防除と近未来的な風景が広

自動化、

自律走行型ロボットによ 最適な水やりと施肥

見える化、

の

北海道農業研究センター(研修1日目)

光景でした。

作

物を栽培しているとは思えな

ロボットが内部を入れ替えたりと は人工の栽培装置が動いてい

て

度からお話しいただき、

大変有意

理作業の大部分にA が使われ

て 管

ご、トマトが栽培されており、

室のような室内にアスパラ、

いち

だきました。施設内に入ると研修 他の施設を特別に視察させていた 日がグランドオープンとのことで

部施設は準備中でしたが、

その

いて、温度や温度等の環境情報の

義な時間を過ごすことが出来まし

クボタアグリフロント (研修2日目)

事が出来た研修となりました。 らの農業のあり方を改めて考える ているとのことでした。 な企業の力でこの施設は成り立 話では、 2日間の研修を通して、 中士別地区 木下一彦委員 クボタだけではなく色々 クボタの担当の方の これ

農地転用には許可が必要です

農地を住宅・倉庫・駐車場・資材置場等の農地以外 にする場合(農地転用)には、農業委員会の許可が必 要です。

個人で所有している土地であっても許可なく無断で 農地転用した場合や、許可通りに転用していない場合 は、農地法に違反することとなり、工事の中止や原状 回復の命令がされる場合があります。

転用する場合は事前に農業委員会へご相談ください。

